



## いつでも好きな卓球ができる、 そんな町に湯梨浜を。

JR松崎駅前に、多世代交流施設として「ゆるりん館」がオープンしたのは、2018年11月。ここで活躍しているのが、地域おこし協力隊として東京から移住して来た種子(旧姓・中河)博子さん。「地方創生と卓球を組み合わせて、地域を活性化したい」との想いで湯梨浜へ。

「8歳で始めて、中学から大学まで卓球づけでした。卓球から得た経験を仕事に生かしたいという思いから湯梨浜に来ました」全国中学校卓球選手権の団体3位入賞、インターハイでベスト8、大学では全国大会のダブルスでベスト8入賞という見事な戦績を持つ。昨年4月の中国卓球選手権大会鳥取県予選会では、湯梨浜まちづくり株式会社所属の選手として、シングルス・ダブルスの2冠を達成。

素晴らしい実績と経験を、「ゆるりん館」や学校・クラブへの出前指導で週に10人以上の生徒と関わり、フル活用。町のあちこちに出向く「卓球インストラクター」として、多くの人に卓球の楽しさを伝えている。

「湯梨浜は初めて来た土地ですが、すぐに人の優しさに触れ、馴染むのに時間はかかりませんでした」

得意の中国語も生かして、大好きな卓球と湯梨浜の良さを広く発信していくのが使命と思っている。

地域おこし協力隊員としての任期は今年の秋に迫ったが、プライベートで永遠のダブルスを組むお相手に、この地で巡り合い、湯梨浜に永住することを決めた。おめでとうございます!!

卓球インストラクター

種子博子

ゆるりん

はま

ま

